



# 金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107  
E-mail kanai-js@sado.ed.jp http://kanai-js.sado.ed.jp/

## 東大入試に限らず 求められている力

校長 香遠 正浩

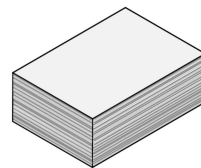
俳優の阿部寛さんが主演を務めた日曜劇場「ドラゴン桜」の第7話「東大模試6カ条」の3つ目に『**数学は言葉で方針を書く**』という条文がありました。桜木先生曰く「自分はこういうふうに解きたいと思ってますという考え方を書くんだ。そうすれば少しは点がもらえる。東大数学は途中経過も含めて採点しているから、こうすれば解けるといえるのが見えれば必ず評価してもらえる。だから…」と熱く語っていました。

このことはドラマの中だけのことではありません。新潟県の中学校で実施しているWeb診断問題（2年数学）でも「**言葉で方針を書かせる問題**」が出題されています。

ある学級では、たくさんの同じ種類の紙があるとき、全部の枚数を数えずにおよその枚数を求める学習に取り組んでいます。それぞれの班に異なる枚数の紙が配られて、班ごとにおよその枚数を求める方法を考えています。

葉月さんの班では「同じ種類の紙だから、紙の重さは枚数に比例する」と考えておよその枚数を求める方法を考えました。

太一さんの班は、**紙の高さに着目**して紙の枚数を求めようと考え、**葉月さんの考え方をもとにして説明**しようとしています。太一さんの説明を完成しなさい。ただし、**実際に紙の枚数を求める必要はありません**。



従来のテストといえば、計算をして答えを求める問題ばかりでした。しかし、上記問題は、紙の枚数を求める「**技能**」ではなく、紙の高さに着目し、しかも例示されている葉月さんの考えを用いて説明する「**思考力、表現力**」が身に付いているかどうかを測ろうとしています。「**思考力、表現力**」の育成が重視されているからです。

新潟県公立高等学校入学者選抜学力検査でも、昨年度から、受検生の思考力・判断力・表現力をより適切に評価できるよう工夫した問題を導入するようになりました。例えば「複数の図や表から必要な情報を読み取って考察するような問題」や「関連する複数の文章等を比較し、その内容を踏まえて解答するような問題」です。

本日お渡しした通知表は、どの教科も、学習指導要領で定められている資質・能力がどの程度育成されているかを「知識・技能」「**思考・判断・表現**」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価しています。この3つは、どれも大事です。1学期の学習状況をこの3観点から振り返り、どこに力を入れればよいか見直し、改善する機会にしてほしいと思います。終業式でそのような話をしました。

## 1学期の校内研修

# 思考力を高める授業①

中学校では、今年度から「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指す新学習指導要領が全面実施となっています。そこでは知識や技能の習得だけでなく、思考力や表現力の育成も求めています。当校では思考力や表現力を高めるために計画的に研修を進めています。1学期に行った5つの研究授業について概要を紹介します。

### 樋口教諭 2B 国語「クマゼミ増加の原因を探る」(5月12日)

学習している説明文の中にある「本論2」は必要か必要でないか、考えと根拠を書くことができるようになることをねらいとしました。一つの正解を目指す授業ではなく、根拠さえ妥当であれば必要・不要のどちらの考えも認めました。右は「必要」と考える生徒の記述です。

このように正答が一つではない形式は、全国学力・学習状況調査でも出題されています。筋が通った理由を述べる力を育成しています。

必要と考えます。理由は読者に疑問が残るかもしれないから。また、筆者の主張である「一步一步積み上げて」という言葉に説得力がなくなってしまうから。(H.K)

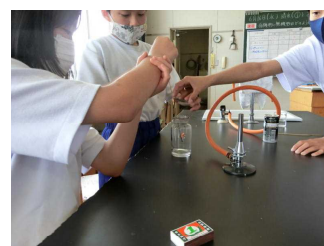
### 中川教諭 2A 社会「世界と比べた日本の地域的特色」(5月26日)

少子化の原因や佐渡市の現状を踏まえて、自分の考える少子化対策を佐渡市に提言しようという課題を提示しました。自分の考えをノートに書かせた後、班で意見交換をさせ、発表させました。その後、佐渡市が行っている取組も紹介しました。そして、再度佐渡市への少子化対策の提言を考えさせました。生徒は、少子化の原因と佐渡市の現状の両面から考察し、提言を書いていた。



### 村田教諭 1A 理科「物質の分類」(6月16日)

砂糖、プラスチック、ロウ、エタノール等は有機物。食塩、鉄、マグネシウム、ミョウバン等は無機物。では、有機物・無機物とはどのような物質か。この課題を解決するため、それぞれについて「水に溶けるかどうか」、「燃えるかどうか」、そして「燃えるときに二酸化炭素が発生するかどうか」を調べさせました。こうして生徒は「分類基準は燃やしたときに二酸化炭素が出るかどうかであること」を導き出しました。



### 佐藤教諭 2A 英語「There are 構文」(6月30日)

前時に学習した「There is 構文」を復習する中で「There are 構文」を導き、文法を分かりやすく教えました。その後、佐渡の名所の写真を提示し、①何という場所か、②何があるか、③さらに詳しく説明する文からなる3文を作る課題を与えました。

生徒はそれぞれの場所について、説明したい内容を英語でどのように表せばよいか、単語を調べたり友達と相談したりして英文を作りました。

It is Onogame.  
There are a lot of kanzo.  
If it is sunny, you can see beautiful view. (9班)

### 大木戸教諭 3B 社会「個人を尊重する日本国憲法」(7月14日)

欧米と日本の歴史年表の対比により、生徒は「我が国の人権に対する取組は欧米に比べて著しく遅れていたこと」に気付きました。

そして授業の終末には「世界の人権思想の発展が日本に与えた影響」について4つの語句(欧米、江戸幕府、自由民権運動、帝国議会)を使ってまとめさせました。右の生徒は、2年生で学習した江戸・明治時代の歴史学習と結び付けて考察しました。

江戸幕府が欧米と条約を結んだことにより、人権を尊重する考えが日本に伝わったため自由民権運動が起り、国民も帝国議会に参加できるようになった。(T.M)

# 体育祭結団式

先月22日に行った体育祭チーム決定式を受けて、6日(火)に体育祭結団式を行いました。まず体育祭実行委員長の坂下新さんが、団長を中心にしながらも団長一人に任せることなく、みんなで協力して活動して最高の体育祭にしてほしいと呼びかけました。

次に、全校生徒にアンケートをして決定した、今年度の体育祭スローガン「英雄たちよ立ち上がり その手に在るのは勝利のみ」を生徒会が発表しました。その後、各軍に分かれて、リーダーや職員の紹介、初めての声出しとエール交換を行いました。大きな声援が体育館中に響き、体育祭に向けて全校の志気が高まりました。

各軍リーダーの意気込みと結団式の様子を紹介します。

## 青軍 応援団長 児玉 聖吾

僕にとって今年はラストの体育祭です。自分のこともしっかりできない自分が青軍をリードできるか心配です。でも「疾風迅雷」という青軍テーマに合った体育祭となるように頑張りたいです。コロナ禍で、できないこともあるかもしれませんが、笑って楽しかったと思える体育祭にしたいです。

## 赤軍 応援団長 本田 悠惺

今年の赤軍テーマを「電光石火」にしました。これは動きが非常に素早いという意味があります。競技だけではなく、移動するときでもきびきびと行動し、一丸となった赤軍の姿を見せたいと思います。しっかりみんなをまとめ、三冠へ導きたいです。

## 青軍 パネル長 森本 大一

僕は、青軍パネル長としてパネル係全員と協力し、体育祭で赤軍に負けないようなパネルを描きます。これまでパネルのような大きな作品を描いた経験が浅い僕ですが、できることを精一杯行って、体育祭をより良いものにできるように頑張ります。

## 赤軍 パネル長 松井 大陸

僕がパネル長になった理由は、1年生と2年生の時にパネル担当になったのですが、一度もパネル賞をとったことがなく悔しい思いがあるからです。これまでの経験を生かして、みんなでチームとして協力してパネル賞を取りたいです。



# 家庭学習力アップ大作戦

家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせるために、今年度は「家庭学習力アップ大作戦」を実施しています。より良い学習習慣を身に付けることの大切さを理解させ、家庭学習の量（時間）と質（内容、取組への自己評価）の向上を図るものです。各学期に期間を設けて自分の家庭学習の実施状況を分析させ、より主体的な取組となるようにします。そして、年間4回の家庭学習時間調査を実施し、学年の目標時間と目標時間を達成した生徒の割合が70%以上となることを目指しています。

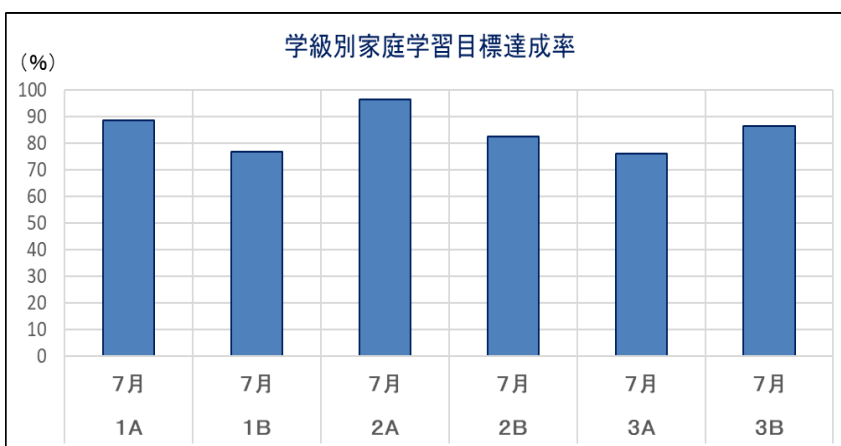
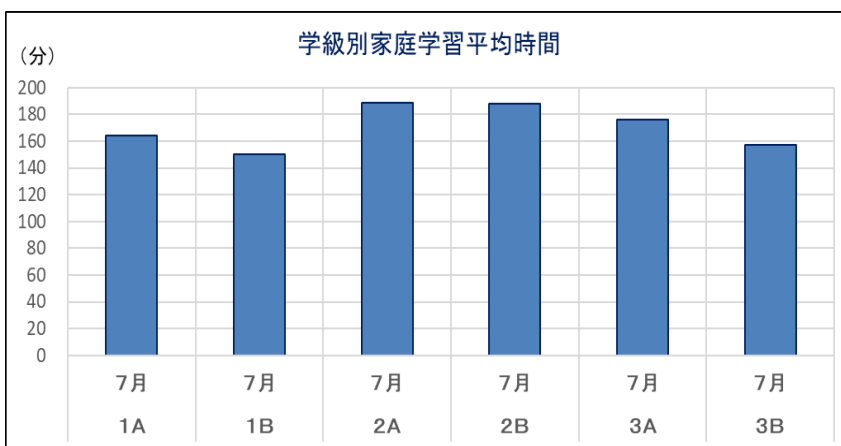
第1回目の家庭学習時間調査を第1回定期テストに合わせて6月7日～13日に実施しました。

学年の目標時間（1年生70分、2年生80分、3年生90分）をすべての学級が達成しました。テスト前ということもあり、どの学級も平均2時間30分以上の家庭学習が実践されていました。

学年の目標時間を達成した生徒の割合が70%を超えることも、すべての学級で達成することができました。

テスト前ではありましたが、目標時間と達成率をすべての学級が達成できたことは、大きな成果であると考えています。

平常時に行った2回目の家庭学習時間調査では、目標時間、達成率を超えたのは1学級のみでした。テスト前だけではなく平常時の家庭学習の取組が課題であると捉えています。



## ~~~~~生徒の活躍の記録~~~~~

### ○全日本中学校通信陸上競技大会（7/2）

- ・女子砲丸投 4位：土屋夏海

### ○第15回佐渡市総合スポーツ大会（ソフトテニス）（7/10）

- ・女子個人戦 3位：小野百恵・畠山愛美 組

### ○下越地区吹奏楽コンクール（7/17）

- ・中学校Bの部 銀賞

### ○第52回新潟県中学校総合体育大会（7/17・18）

- ・男子バレーボール部 3位